


とおくみてんだあ

母娘 八かき二重奏

女川和子
村上祐喜子

①



Talk me tender 



丹波から
 帰ったら
 蘭の
 花が
 咲いた
 ほったらかしだった
 すごい生命力！

2007. 5. 21 約10年前にもった蘭

< 母さんへメール >

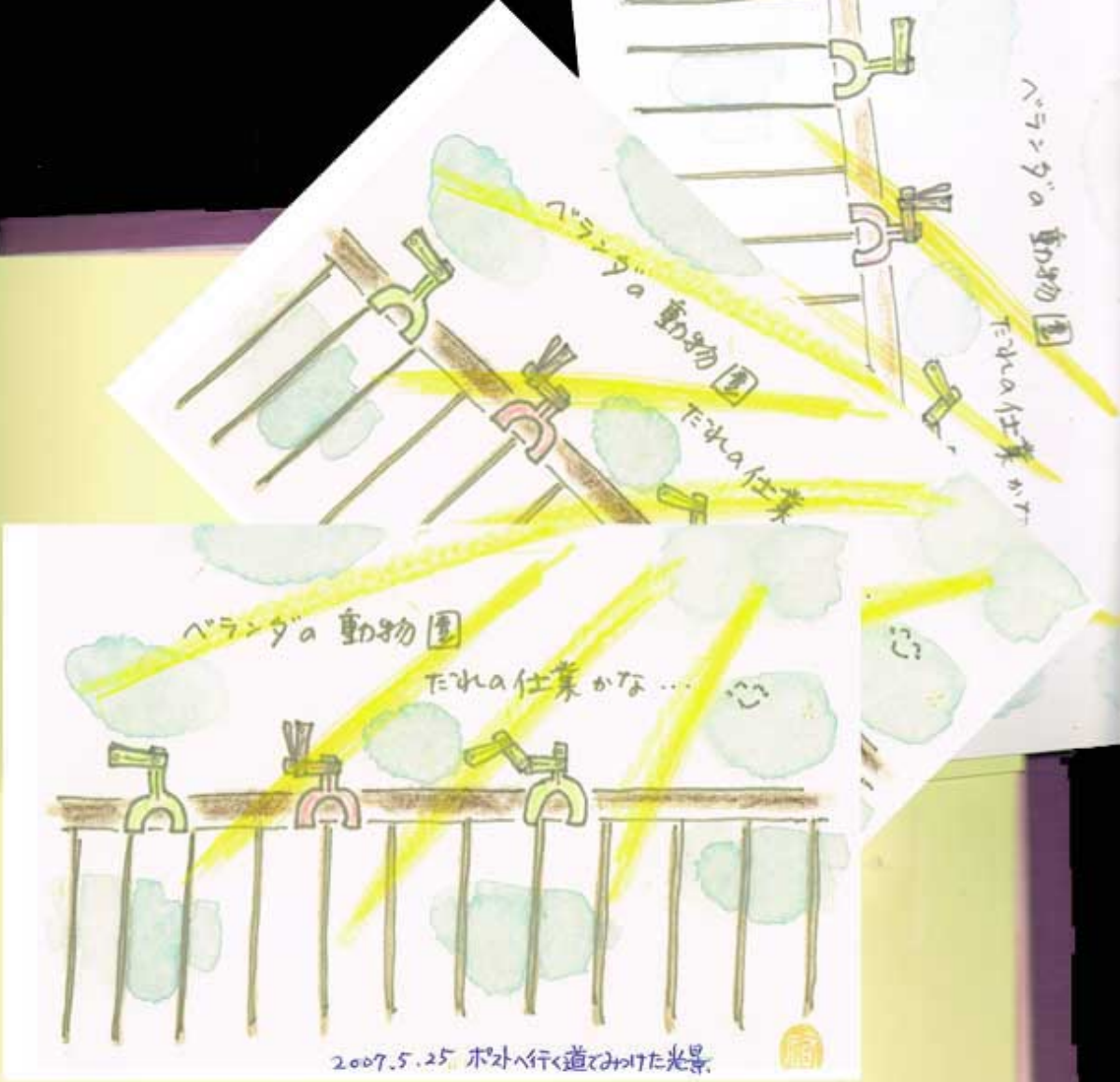
私は母の字が好き。絵も好き
 なのに母は書けない。描けない……と
 母は母が遠くなら、言ってることが伝わらない
 とこもりがちになる。笑顔も少なくなる。
 さん!! 書こうよ。描こうよ!! 話そうよ!!!



一番近いポストへ行く
 2007.5.24
 ちの家の家
 2007.5.24

日さす小まな泉一すこ

毎日に届ける



ペランダの動物園

たけな仕事かな...

2007.5.25 ホトへ行く道とみけた光景

ペランダの動物園
 たけな仕事かな...

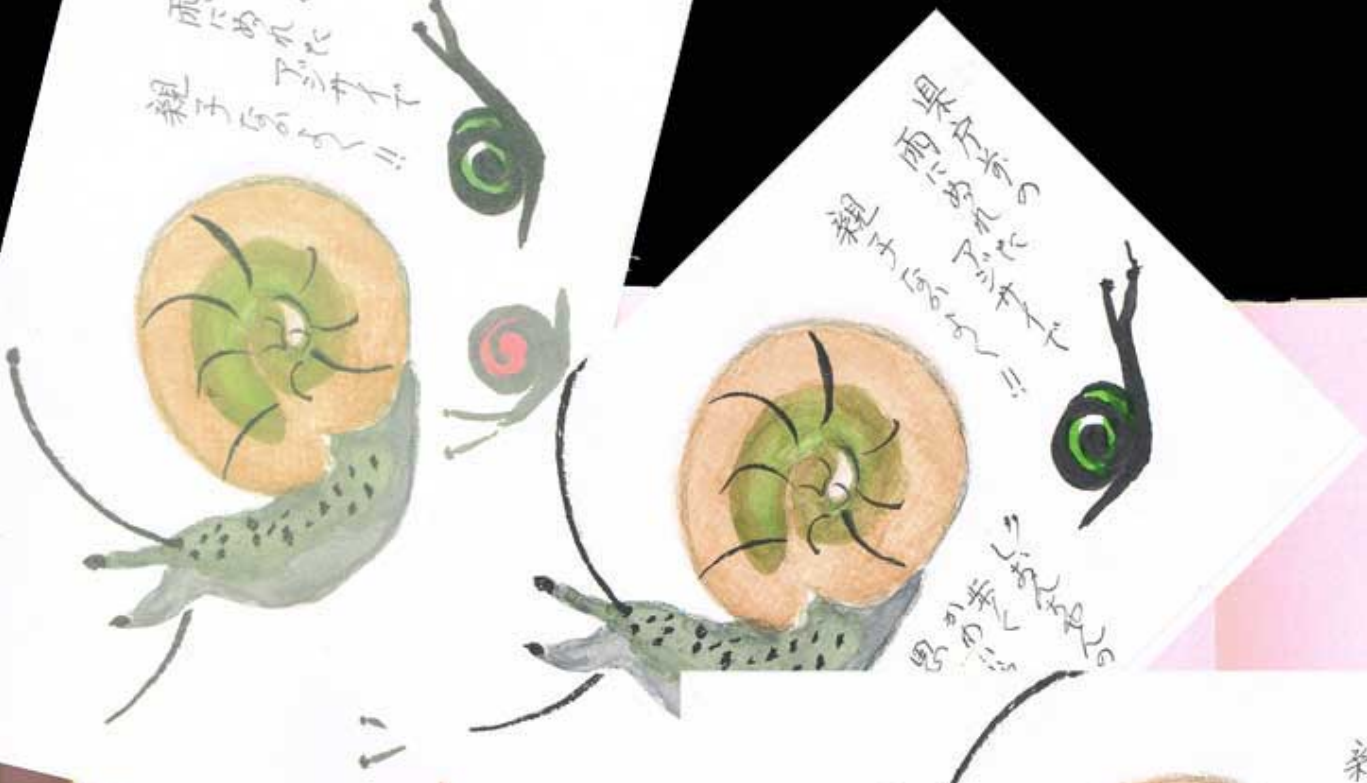
娘一冊

ゆくり ゆくり...

母は書き出しにくれました



母 → 娘



父の思い出を届けました

父の日に

〈母えへ ありがとう〉



父の思い出
アヒバロ

昭和30年
博史父さん30才前
2007.6.14(木)
えうぞくKの日

娘→母

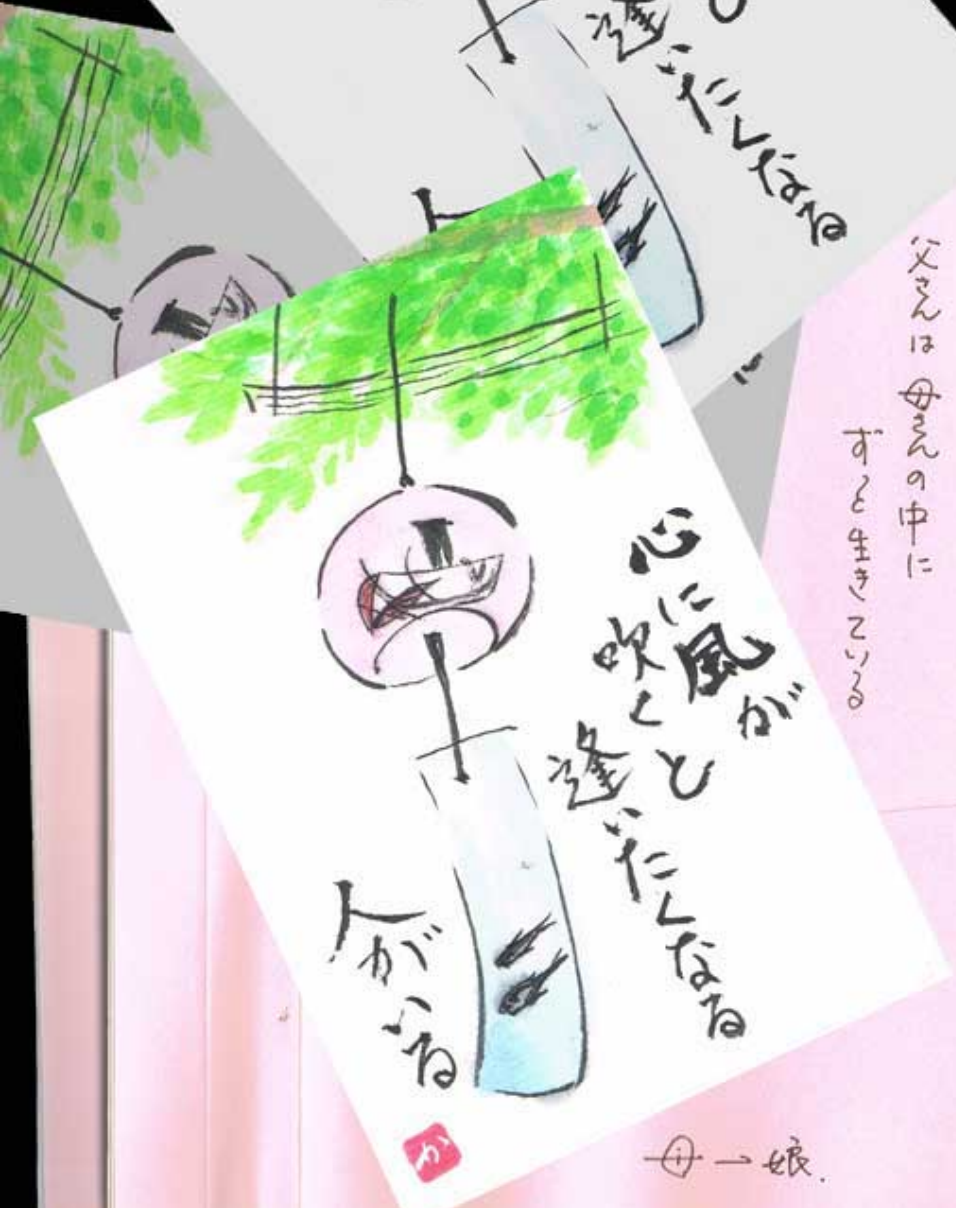


父の思い出
アヒバロ

昭和30年
博史父さん30才前



吹く風が
逢いたいよ



吹く風が
逢いたいよ

父さんは母の中に
ずっと生きこいる

こんなにかぎがたなんて...

母→娘

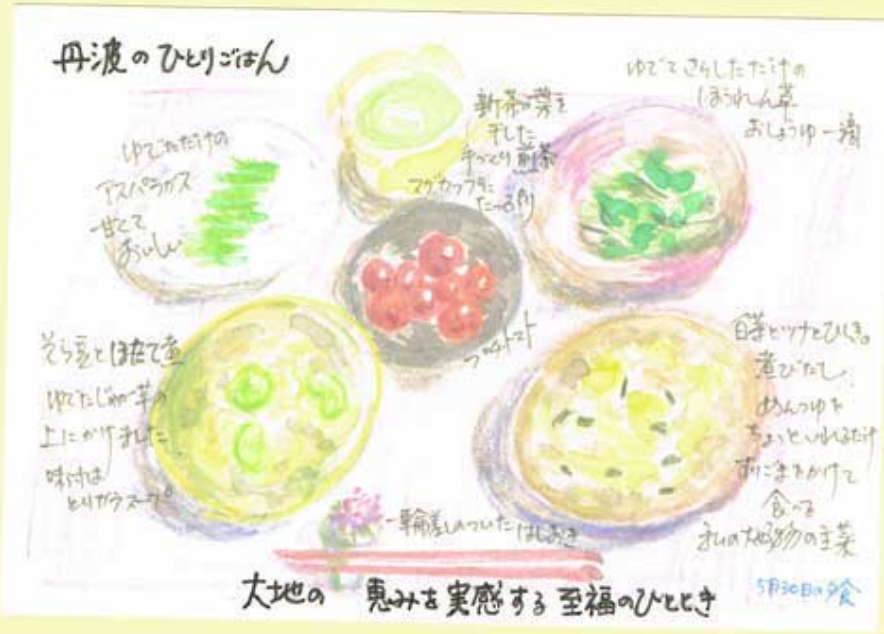
母さんの中にある
想いが...



あの日
大きな空を
飛びわたって
います



朝日
あけぼの
Shirayuki
2000



娘 → 母

ご
は
ん
た
よ
...

〈 母さん 〉
 〈 さん 〉
 〈 さん 〉



食事の話に
母は
健筆です

母→娘

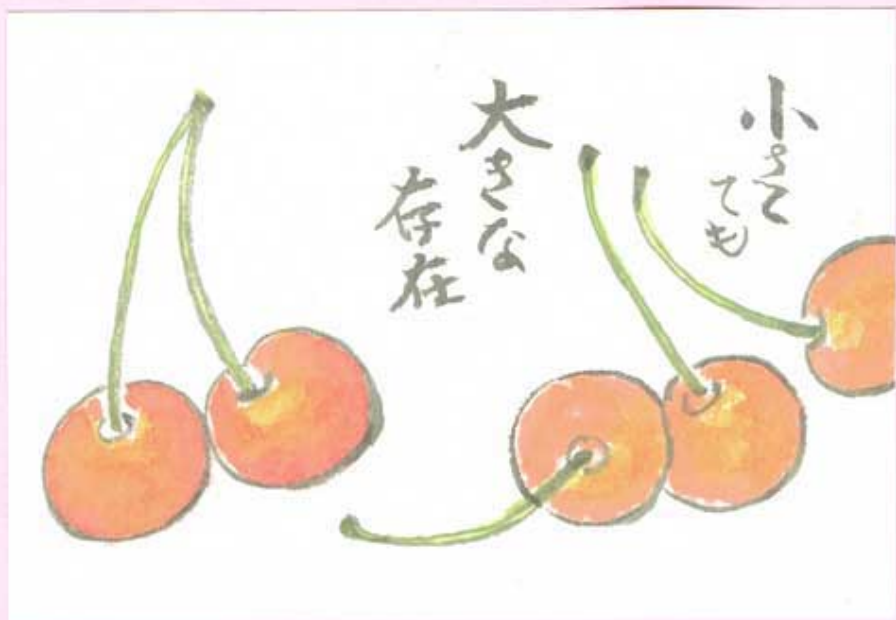
<おまへ> ころも >

じつのおまへに

おばあさんと

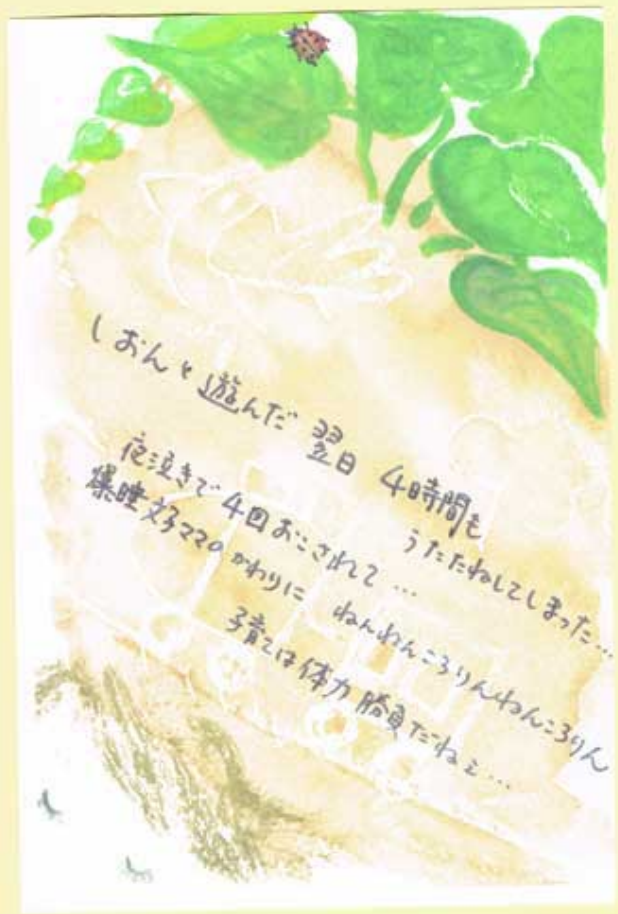
ひいおばあちゃんになっちゃったね





おっしやる
通り
...

母 → 娘



顔
 みたなあ...

へ母へへ
 その五へ

娘→母



母さんの和顔がうらやましくて



母→娘



わびさびの
心大切に

家を建てたときも座敷に坪を
振り水磨き作った。ウレ
足が痛くなり坐れなくなつたの
ころ...

起又恵おはあぢん 熱心でいた

ねあそびた心か
ゆきふられた。
お茶のけしんが大好きまで
娘時代から始めた
表千家
女川でも
佐倉先生下
表流

母→娘

おけいこことのはなす

へ母へ その六



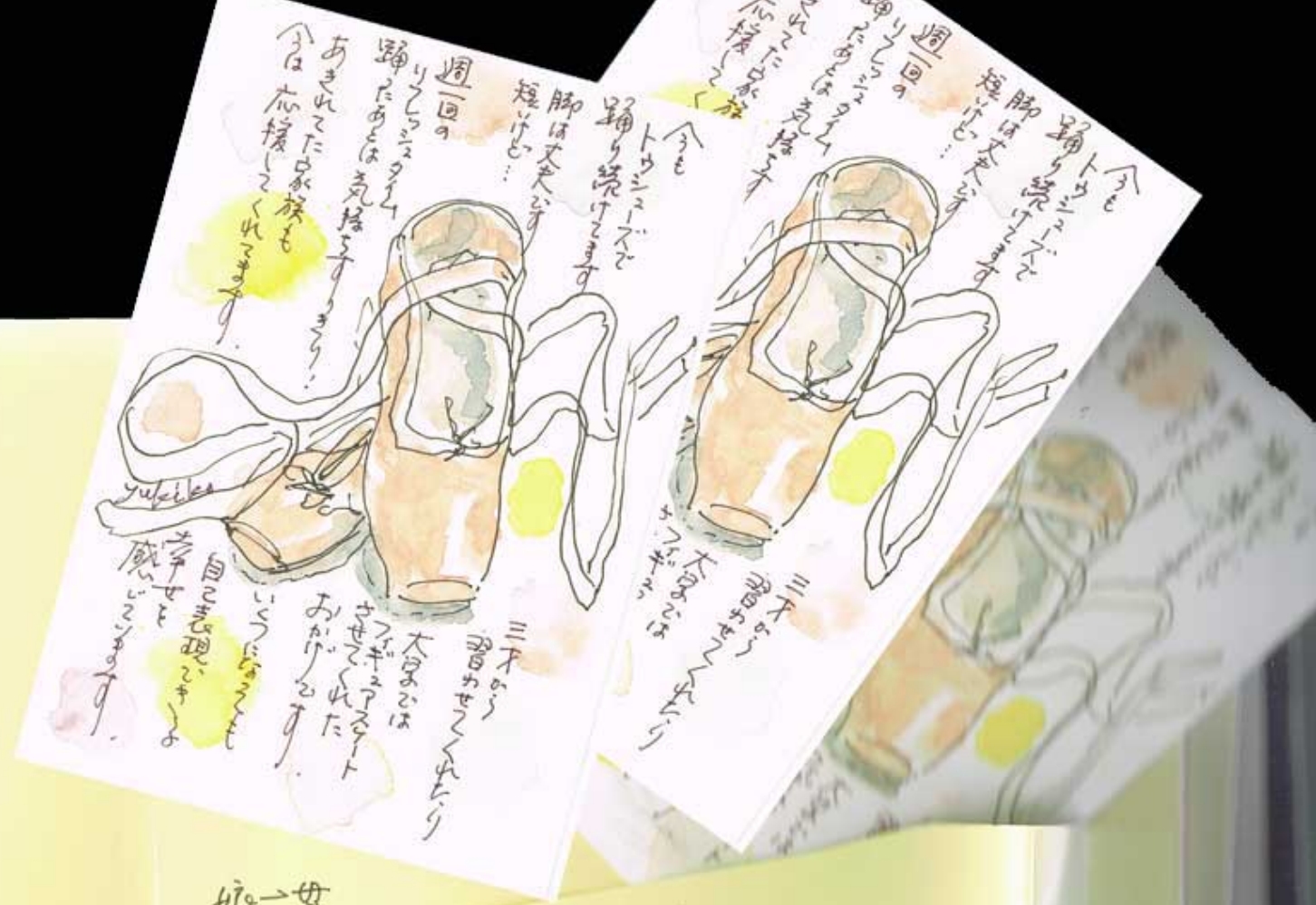
里井のリンチおぼんのか
今日のお茶会は七らをた
朝近くおけいこことのはなす
一人短冊に願ひを...
七、八十歳代の婦人ばかり
の茶会。吾母の健康とてはよく
健康な飲むことこそはよく
風流な趣のある一まはり
おけいこことのはなす
おけいこことのはなす

娘→母



お、
みごと
元気は
うれしお

大根じゃなくして
ありがと
♡



母→母

母さんへ
大きな声では
言えないけれど...



暦では立秋に入りました
 たが

日中しきりに
 なく

蟬しぐれ

カミのせは...



へ母さんと その八

白き夏

せみのこも あれこれ考とすのした



思ひきり
 唄え

まじを聞けたら心地よい
 風とせみの声
 生きたれはあかりかな...

7年?お土の中に
 いて、地上では人間
 間の生命とが—
 かんはらて

かへいこ



母→娘



④ → 娘

10月21日



娘 → ④

風に
やさしく
ゆれて
おみなえし



秋風に
やさしく
ゆれて
おみなえし



へ母えかう その九

風か心地いね



今
吹いて
風
ます。

すのすのしい母の風

母へ贈

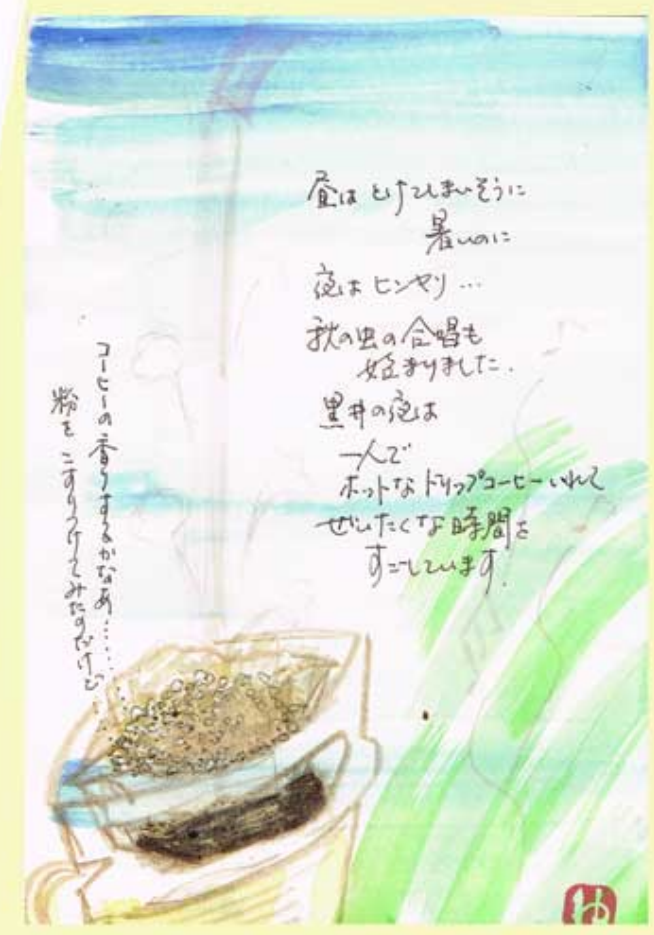
夏の間すーく 草ほほほ
 たんだに
 秋桜の種をまそう
 今ほもう皆高ニます
 風か
 吹くたび
 グー
 ンス
 し
 ます



夏の間すーく 草ほほほ
 たんだに
 秋桜の種をまそう
 今ほもう皆高ニます
 風か
 吹くたび
 グー
 ンス
 し
 ます



すくと
 いに風かふん
 母さんには...



昼はヒツヒツと
 暑いわ
 夜はヒンヤリ...
 秋の虫の合唱も
 娘がやれた..
 里井の泡は
 一人
 木下なつみ
 せいとて時間
 すてきな

コーヒーの香りするかなあ...
 粉もニすりすりしてあげるわ

自由な
 風

娘



母さんへ そのへ

母さん

私を産んでくれてありがとう。

福

か
いばい
来
あつこ

福

あつこ
来
あつこ
あつこ

あなたに

福

か
いばい
来
あつこ



福のこころ
あつこ
あつこ

喜寿の母

福だより

喜寿の人に「福」と書

あつこ

あつこ

あつこ

母→娘



遠くに住む母と

へがきで話しといる間は

私が娘でいられる時間です。

こもりがちになった母と

励まそうつもりで始めたのに

今では、私の心の支えに

なっています

二〇〇七年十二月十一日

村と祐喜子

表紙絵・女川和子



